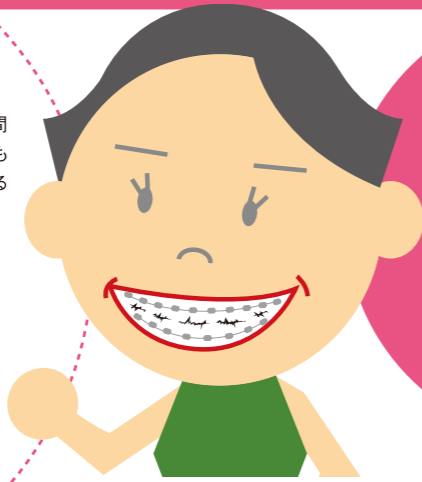


特集

ニーズに合わせて色々。

増えています、矯正人口

矯正に対する認識が増えたこと、矯正の技術が向上し、期間を短縮できたり、痛みを軽減する装置や、見た目に目立ちにくいものができたことが反映され、10年前と比較すると、矯正をしている人は倍ほどに増えています。



日本人はアゴが小さい割に、歯が大きく、ガタガタ度は欧米人よりもきついケースが多くあります。今回紹介する「インプラントアンカー」は、歯に隙間ができていく日本人に合わせた治療法として、日本を中心に広がっています。

歯並びは見た目だけの問題ではない

子供の矯正、大人の矯正

矯正には2段階のパターンがあります。第一段階は、永久歯が生えそろう前（子供の時期）の矯正です。この頃は、アゴの成長が続いているので、上下のアゴの成長をコントロールしながら矯正する方法になります。第二段階は大人になってからの成人矯正。第一段階で矯正ができなかった、あるいは、しなくてよかった人の矯正になります。ここでは、歯並びをなおすことが主流となります。またこの段階で、上下のアゴのアンバランスが大きい場合には、手術となることもあります。

矯正治療は、子供も大人もできる治療です。その年齢層は幅広く、50代以上の高齢者でも可能です。歯周病（歯槽膿漏）により歯が倒れ歯並びが悪くなった時など、元の歯並びに治すという、歯周病の最終治療としても行われています。また、歯周病を予防する意味でも、歯並びをよくして手入れしやすい状況にするためにも行われます。歯の噛み合わせが悪い、歯によって口内を傷つけてしまうなども解消して心身に及ぼす影響をなくすので、きちんとした歯並びに治すことは、快適で健康な生活を送るために大きく貢献しています。

ホームページできました!
本院の矯正歯科や矯正治療について、より詳しい説明のあるHPが開設されました。気軽にのぞいてみてください。
<http://www.dent.tokushima-u.ac.jp/kyousei/index.html>

これがイマドキ!「歯列矯正」

最新の矯正は、より快適に治療を継続できる工夫がいっぱいです!



「見た目」に対する配慮のある例

- リンガルブラケット…歯の裏側に装着できる矯正装置です。上の歯にリンガルブラケットを装着。下の歯は見えないので、通常のブラケットをしている状態。
- レジンブラケット、セラミックブラケット…従来の金属製メタルブラケットとは違い、白く半透明のブラケットで目立ちにくいものです。

患者さんの「負担軽減」を考慮した例

- セルフライゲーションブラケット…装置とワイヤーとの間でできた摩擦が矯正独特の痛みを起こします。ブラケットを覆うタイプのもので、摩擦を減らし痛みを軽減、歯の動きも早くなり、治療期間を短縮できます。
- インプラントアンカー、ミニスクリュー…奥歯などではなく、骨にポイントを埋め込み歯を動かすことで、かかる圧力を分散調整できる装置。期間短縮やその他装置の軽減ができます。



「インプラントアンカー」とは?

従来の矯正は、奥歯などをポイントにしてその他の歯を装置により引っ張り動かしていましたが、奥歯自体にも圧力がかかってしまうためヘッドギアやゴムをかけなければならない場合があります。しかし、骨（歯茎よりずっと上にある骨の側面）に固定したスクリューをポイントに歯を動かすので、歯全体に力が分散され、バランスよく動かすことができます。スクリューは麻酔後にねじ込むだけ、骨と接着しないため麻酔なしで外すことができます。従来に比べ、現在の矯正治療は格段に煩わしさや見た目の問題などが改善されています。悩みのある方は、ぜひ気軽に相談に来てみてください。それぞれの生活やニーズに合わせて、矯正のプランを考えていきましょう。

「昔と違って、皆さんの歯並びの状況、生活習慣、必要性など個別のニーズに合わせた矯正の治療方法を探ることができるようになってきました。従来の”痛そう、見た目が怖い”などのイメージは大幅に軽減されています。これまでのイメージをなくし、健康に結びつく新たな手段のひとつとして、矯正をもっと身近に考えていただければと思います」



説明は、徳島大学病院 矯正歯科長
田中 栄二
(たなか えいじ)
■問い合わせ
矯正歯科外来
Tel.088-633-7373